



いそべえ初登場 国府保育園入園・進級式

議会だより

第164号

2012年（平成24年）4月27日発行

大 足 集

3月定例会（2月17日～3月16日）

- 平成24年度予算を可決 …………… 2～4
- 行政組織をピラミッド型に変更へ…………… 5
- 平成23年度補正予算を可決 …………… 8・9
- 町政のここが聞きたい 一般質問 …… 10～14
- 議会報告会にご参加ください…………… 16

平成24年度予算 付帯決議をつけ可決

～予算特別委員会で審査～



中崎町長が最初から手がけた予算案へ
賛成議員からも辛口意見続出

平成24年度予算歳出額 総額約177億9,800万円

●一般会計	92億8,700万円
●特別会計	
国民健康保険事業	39億2,900万円
後期高齢者医療	6億7,500万円
介護保険事業	22億5,900万円
下水道事業	16億4,800万円
※100万円未満は四捨五入	

防災用備蓄品

問 幼稚園、保育園、小・中学校の子どもの備蓄食糧等が予算の中に入っているか。

答 小・中学校は予算にはない。中学1年生のときに個人でペットボトルの水とクラッカーを買ってある。小学校では今検討中である。幼稚園も備蓄はない。保育園は水、米、レトルト食品の備蓄が人数分ある。

防災行政無線の整備

問 防災行政無線が聞きづらい場所の工事の内容は。

答 海岸線は西湘バイパスが通っていること、海の波音、内陸の防災無線の範囲に入っていない等の理由により聞こえないので、津波対策を重点に、海岸線3カ所に新設する。それ以外の海岸線で既設のものは、音量の拡大、スピーカーの変更や方角の調整を行っていく。

生活交通確保対策

問 補助金は合計で2千100万円だが、3ルート（富士見地区ルート、西

小磯ルート、高麗地区ルート）それぞれの金額は。

答 分けた金額は出ない。23年4月から町内全域を考えた中で再検討してきた。バスが走れる場所を歩き、高麗地区も可能との話が出てきた。赤坂台は道路事情の関係で入れず、議会には数度、進捗状況を説明してきた。

荒廃農地対策

問 荒廃農地の予算と対策は。

答 予算は増えていない。農地の貸し借り推進や荒廃農地を使用した農家がいたら、農地に重機を入れて使えるような対策も立てていきたい。

学校施設の耐震化

問 大磯小学校体育館の耐震工事が無いのはなぜか。耐震診断の数値はどうなっているのか。

答 耐震診断の速報値は出ているが、いま第三者判定委員会にかかっている。正確な数字が出たら公表

していく。避難所になっているので、耐震の結果によっては耐震工事や改修について検討し、予算化を考えていきたい。

問 学校施設のメンテナンス費用が少ないと思うが、どう考えるか。

答 予算はかなり少ない状況で、その都度現場を見て対応している状態である。財政状況が厳しいため、補修、メンテナンス費用も取れない状況であり、今後検討していく。

中学校給食

問 中学校給食を新年度はどう検討していくか。

答 23年度は近隣の学校給

食材の放射能測定

食センターやお弁当デリバリーの施設を見学した。24年度はニーズを把握するため、アンケートを行い、方向性をまとめていきたい。

問 学校給食において、食材の放射能測定の仕方や頻度は。

答 県が国の補助事業を活用して簡易型の検査器具を5台購入し、県内2カ所に設置して市町の学校給食の検査を実施するので、町もこの事業を活用していく。器具の設置場所、検査方法、回数等、詳細内容が示されてから、実施方法を検討していく。



コミュニティバス・新しいバス停

図書館窓口業務

問 図書館窓口業務を委託から直営に戻すに至った経過は。

答 平成21年度から、ふるさと雇用再生特別交付金の10割補助を活用し、業務委託を行ってきた。24年度からは町単独費となるので直営とし、臨時職員と正規職員で接客対応サービスの向上と費用削減を考える。また、分館との連携も密になるメリットもある。

スポーツ健康イベント

問 実施に向けての24年度の進め方は。

答 大磯チャレンジフェスティバルは、事業の再生を前提に見直しするよう行政評価を受けて休止し、関係団体を含めて検討会を開いてきた。開催は10月を目指し、運営主体を町から町民主体の実行委員会に移し、4月以降は実行委員会を立ち上げて内容、運営、活用を検討していく。

町税コンビニ収納

問 コンビニ収納にかかる電子計算システム開発委託料の内容と導入経過は。

答 システム改修費用、端末機器セットアップ作業、バーコード、スキヤンテスタ等が主な内容。行政評価の結果を受け、税目を4科目とし、住民サービスの向上と納税環境の改善、納税機会を増やし、税金に寄与するため、25年度から実施していく。

消防車両の整備

問 消防団の消防車両買い替えは、予算計上されているか。整備計画は。

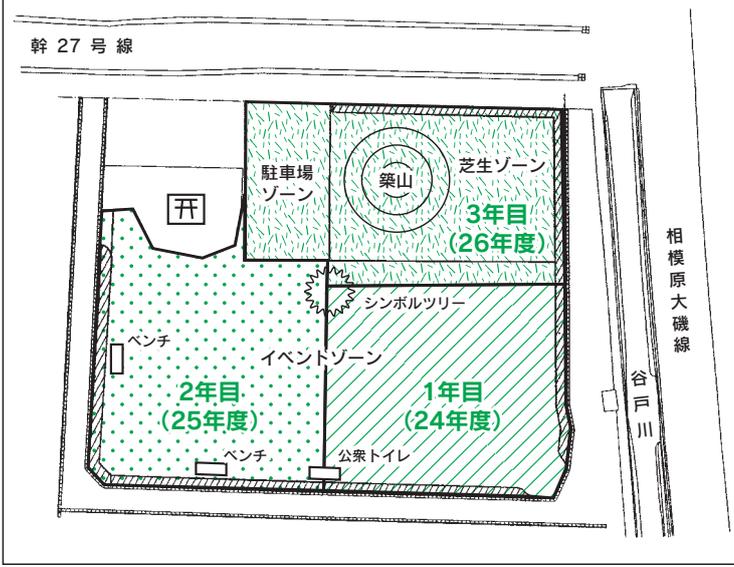
答 予算計上はしていない。平成22年11月の行政評価で、消防車両の見直しが必要と出た結果を受け、23年に町長から消防審議会に諮問し、消防団数と消防団員数の見直しを検討している。その結果で、消防団数に応じた車両整備計画を行っていく。

答 県補助金の上限額が153万円。町の補助金を合わせ380万円を支給する。事務所はさざんか荘にあり、目的外使用で減免している。

介護報酬の地域区分見直しを求める意見書を提出

介護報酬の算定について大磯町議会は、①大磯町のみが近隣市町と異なる地域区分となっていること、②地域区分を示すこと、③地域区分は市町村ごとではなく、生活圏の実情を把握し、同一圏内の地域については同一区分とすることを要望する旨の意見書を全議員賛成で可決し、3月16日に厚生労働省へ提出した。

旧生沢プール跡地整備（検討案）



旧生沢プール跡地の整備

問 旧生沢プール跡地整備事業の内容は。3年間で3千万円かけて行うことは地元からの要望か。

答 地元の方々や区長を含め調整してきて、3年間かけて順次整備していく。1年目はプール跡地南半分のだスト舗装、給排水管の敷設、敷地周りの土留め、側溝の整備。2年目は公衆トイレやベンチの設置、3年目は駐車場の整備などを行う予定。金額は地元から具体的に何千万とかが要求があったわけではない。

予防接種

問 予防接種委託料の内容と周知方法は。

答 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種委託料である。周知は、出生連絡票の提出時に、保健師がヒブと肺炎球菌の案内をし、子宮頸がんワクチンは、新中学1年生、高校1、2年生には個別通知をしていく。

介護保険事業とサービス

問 介護サービス等給付費は伸びているか。また、介護報酬の地域区分の見直しにより、二宮町がアップしたとのことだが、町はどうか。

答 給付費は伸びている。介護報酬の算定については、既に県を経由して国へ何度も確認を行った。算定方法は、国家公務員の地域手当に準じて決めるのか、適用地域に国の官署の有無、2市町以上隣接するところがある

シルバー人材センター

問 県補助金、事務所目的の外使用、町の指導、監査方法、時給、研修・講習等の内容は。

- 予算特別委員会**
- 委員長 奥津勝子
 - 副委員長 三澤龍夫
 - 委員 土橋秀雄
 - 高橋富美子
 - 鈴木京子
 - 吉川重雄
 - 関威國
 - 坂田よう子

町長の施政方針に対する 総括質疑に9人が登壇

主な質疑

問 自治基本条例の本格的施行による協働社会の実現とは。

答 皆で発言に責任を持ち、他人のことを思いやる公共の心が必要。一方、限られた財政の中で、いかに歴史・伝統ある大磯町を運営するかが最も肝要である。

学の徹底で削減に必ずつながる。名前は変えない。

問 公共施設の耐震化はいつ終わるのか。

答 24年度は裡道児童館と西久保福祉館の耐震補強工事を行う予定。4施設を調査中で、工事が必要という結果が出たら早急に対応する。

問 危機管理対策室を町長直結にしたが、指揮命令ができるのか。

答 機能については、職員が共通認識を持たねばならないが、対策室長の発動は町長と同様に重いものである。

問 公共施設の再配置や用途地域の見直しの具体的な内容は。

答 18年度策定のまちづくり基本計画は5年を経過。社会情勢は大きく変化している。20年、30年後を見直し、災害に強いこと、道路整備、土地や資産活用を多くの知識を集め、見直しを図る。

問 おあしす24は医療費削減につながるのか。医師は同行しないので、名前を変えたらどうか。

答 医療費は予防医



裡道児童館

平成24年度 予算

賛成

討論

反対

- 賛成するが、シルバー人材センターへの取り組み、都市計画と基盤整備、農業振興等にしっかり取り組んでほしい。
- 重要課題がどのように反映されたか疑問に思う部分があるが、賛成とする。
- 賛成するが、学校法人国際学園の保証金未納分の1億8,000万円は払ってもらうこと。下水道使用料金値上げをしながら、一般会計繰り出し金が減らなかったことを反省すること。
- 危機管理において、町施設での防災備蓄品の充実を図ってもらいたい。医療・福祉では子育て支援にいろいろ配慮されたと思う。
- 意識改革・行財政改革に留意して公会計制度を整備し、自治基本条例の運用、卓話集会により行政一体となって進められることを期待する。
- 中学校給食等をしっかり検討してほしい。

- 子育て世代の所得税、住民税が増える。小児医療費助成の所得制限をなくすべき。
- 万台こゆるぎの森の保証金未払いが続く。町の主体性が感じられない。
- マリア道1億400万円は凍結すべき。
- 防災資機材調達の自主防災の負担3分の1はなくすべき。
- 旧吉田茂邸再建の内容が見えない中で、寄附見込み額の2,000万円は集まるのか疑問。
- 国保は町独自の減免がなく、後期高齢者医療制度と介護保険料が値上げされたことから反対。
- 下水道料金の値上げに反対。

一般会計予算に対する 付帯決議を可決

提案者・吉川重雄議員、賛同者6名で議会最終日の3月16日に、「平成24年度大磯町一般会計予算に対する付帯決議」が提出された。

付帯決議とは予算に賛成するが、予算執行にあたり、決議の内容に配慮するよう求めるもの。

決議の内容

① 幼・小・中学校での災害時の子ども食糧備蓄品の予算計上を検討すべき

② 農業者の高齢化が進む中、遊休農地・荒廃農地対策の予算増額と農業の6次産業化の対応を行うべき

③ コミュニティバスの導入については、赤坂台の運行も検討すべき

反対討論

○ 予算特別委員会で反対した議員が提案するというのは、特別委員会の重みを理解していないのでは。

賛成討論

○ 施政方針と当初予算に整合性が見られず、改革の内容が見えてこない。予算案に対し疑義を訴え、決議案に賛成とする。

賛成多数で可決

議案第1号 大磯町部等設置条例を審査

5月1日から部・課・係のピラミッド型へ

「町民にとってわかりやすい組織づくり」「多様化するニーズに責任をもって対応できる組織づくり」「効果的かつ効率的に町政運営ができる組織づくり」を基本方針とし、人を育てる行政組織の構築を目指し、「部等設置条例」が提出された。

付託された総務建設常任委員会及び本会議において採決の結果、全員賛成で可決した。

主な質疑

問 今回、部にした理由は。
答 職員アンケートをとり、理事職や総括課長の責任と位置づけが不明確、職員のチェック機能等の問題があり、部・課・係のピラミッド体制とした。

問 部組織の問題として、職員数が少ないのではないか。
答 定員適正化計画に基づき、現有人数の中で職員個々の能力を発揮できる機構に見直していきたい。

問 まちづくり部門等の充実、どこで進めるのか。
答 まちづくり基本計画、用途地域の見直し等、都

問 市計画の充実を図るものであり、建設経済部都市計画課で考えている。
問 すぐやる室がすぐやる窓口が変わった理由は。
答 職員意識を変え、全職員がすぐやる担当という意識を持ち、コンパクトな行政運営を行うため。

問 危険管理部門は何を行うのか。
答 災害・防災対策、法令順守、職員の健康管理等、庁舎内外で起きる問題に対応していく。また、事が起きてからの対処だけでなく、予防が大事である。日常で起きたことを検証し、全職員に伝える部署が危険管理対策室の設置目的である。

問 職員の能力を引き出し、意識を変えるのは町長、部長、課長、係長にかかっていると思うが。
答 町長以下管理職の責任である。

問 ピラミッド組織にし、定員260名の中で情報の共有、チェック機能の強化、組織力を使って問題解決を進められるのか。
答 現行のフラット制は担当同士の横のつながりかなかった。新組織では係長がキーマンとなり情報共有した中でチェック機能を果たす。個々のマン

問 新組織では政策決定はどう行うのか。理事職は置くのか。
答 理事職は置かない。課や部からの問題提起は政策会議等で議論し取組んでいく。



賛成討論

○危機管理、まちづくり、医療・福祉、廃棄物対策、産業・観光、教育の重要項目強化による組織づくり、また協働のまちづくりの準備が始まったことは評価できる。

○職員の声をしつかり聞いて行政に生かしてほしい。町民から新しい体制になり、よかったと言われる体制にしてほしい。

○フラット体制では十分な議論、チェック機能が働かないので、ピラミッド型に戻すのは当然である。機構を整えるだけでなく、職員のやる気を引き出す適材適所の配置を求め、知恵をしぼり、住民サービス向上に結びつくよう期待する。

議会委員会条例改正

部等設置条例の制定に伴い、総務建設と福祉文教の2常任委員会の権限行使の範囲、所管事項を改める改正を行った。

全員賛成で可決

暴力団排除条例を可決

本条例は暴力団排除に関する基本理念を定め、町および町民の責務を明らかにするとともに、暴力団排除の推進に必要な事項を定めることにより、町民の安心安全を守るものである。付託された総務建設常任委員会及び本会議において採決の結果、全員賛成で可決した。

主な質疑

問 この条例で町民の安心・安全を確保できるか。
答 4月1日の施行で県下全市町村の条例制定が整う。県と市町村が包囲網を張り、警察対暴力団ではなく、社会対暴力団という構造に変えていくのが趣旨であり、その中で町民の安心・安心を守る。

問 暴力団の経済的な進出を防止するために警察に照会できるか。
答 関係者か否かの照会ができる場合もある。

賛成討論

問 町が行う事務は何か。
答 ①町職員等への不当な要求に対する措置②町の契約事務や給付金の交付

○条例制定により、町民も意識を持ち、町も不当な要求を断ることができ、町の安全・安心の抑止力となることを期待する。

旧吉田茂邸 整備活性化等基金条例を可決

〔財吉田茂国際基金の解散に伴い寄贈を受けた残余財産のうち、約7千658万円を原資として、旧吉田茂邸の再建後の維持管理や資料の保存活用、教育・学術・文化等に関する調査研究に対する奨励助成事業などの資金に充てることから、基金の適正運用を目的とする新規条例の議案が提出された。付託された総務建設常任委員会及び本会議において採決の結果、賛成多数で可決した。〕

主な質疑

問 平成21年制定の大磯町旧吉田茂邸再建基金条例が既にあるが、新たな条例をつくらなければならない理由はなにか。

答 吉田財団の寄附の目的が現在の再建基金の目的と合致しない部分があるため、新たな基金を設立して旧吉田茂邸の維持管理、運営を図るということである。

問 7千658万円は、整備及び活性化を目的とするが、ハード面でも活用できるというニュアンスを含んでいるのか。

答 修繕費用など再建後の町が再建後の維持管理を担うが、具体的な姿や経費はわかっていない。「吉田茂賞」を誰が何を基準に選定するのかさえ議論なく、賞の承継を決めて

よいのか。吉田茂の評価はさまざまであり、地方自治法となじまない。

賛成討論

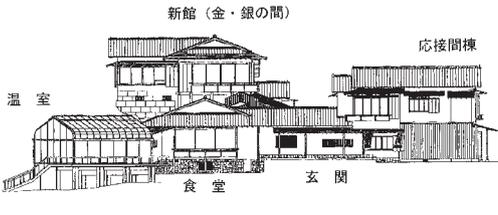
〔財吉田茂国際基金から寄附を受け、近現代史研究に対する吉田茂賞の継続を町は託された。吉田茂は名誉町民であり、町は誉をもって任に当たるべきと考える。〕

○近現代史研究に関する事項を上手に運用するには、委員会等を設置していく必要がある。吉田茂の外交政策の意義、これからの日本外交に夢の持てる基金運用をしてほしい。

反対討論

答 再建費用の不足分について流動的に対応できるような内容も加味している。

再建（案）



介護保険料基準額 月額320円値上げを 可決

問 120万円以下の階層を新設したが、介護保険事業をやっているのか。

問 サービスが低下する恐れがあるが、職員体制や機構改革における決意のほどは。

平成24年度から3カ年の介護保険計画が策定された。保険料は、計画に必要な3年分の事業費を約69億円と算定。国・県・町で約5割と、40歳以上の被保険者の負担割合で保険料率が決まる。

問 介護保険計画で力を入れていくのは何か。

答 町の姿勢を変えなければならぬ。医療福祉も町の限度があることを納得していただきたい。

今回の議案の内容は、65歳以上の第1号被保険者に対する保険料の改定で、町は所得に応じた保険料を10段階にわけて設定したもの。

問 介護サービスはどう変わるのか。

答 今後3年間で特別養護老人ホームの増床はない。サービス内容も低下する。ぎりぎりまで介護をしている方たちには酷な状況が続けさせることになる。

主な質疑

問 値上げをせざるを得ないことを、どう町民に情報提供していくのか。

答 議会にまず納得いただき、町民には情報をきちっと伝えていく。

改正後の保険料

階層	基準額 (a)	負担割合 (b)	年額保険料 (a)×(b)	増となる額
	円		円	円
1	52,320	0.50	26,160	1,920
2	52,320	0.50	26,160	1,920
3	52,320	0.70	36,600	240
4	52,320	0.75	39,240	2,880
5	52,320	0.90	47,040	3,408
6	52,320	1.00	52,320	3,840
7	52,320	1.25	65,400	4,800
8	52,320	1.50	78,480	5,760
9	52,320	1.75	91,560	6,720
10	52,320	2.00	104,640	7,680

※3階層は新しく設けられた階層・6階層が基準額

賛成討論

○いろいろな問題はあると思うが、今後の課題として取り組むことが必要である。

賛成多数で可決

公共下水道使用料

9%値上げへ

汚水処理に要する経費は下水道使用料収入で賄うことが原則だが、不足分を一般会計から補っている。料金の改定について下水道運営審議会に諮問し、繰入金抑制を図るよう答申を受けた。一般汚水の基本料金・超過料金を平均9%増、公衆浴場汚水の基本料金を据え置きとする改正。

施行日は7月1日。

主な質疑

問 平均の世帯の値上げ額はどのぐらいか。

答 9%値上げした場合、4人世帯の2カ月間の使用量が40㎡の場合、現行料金3千979円が359円の増で、4千338円となる。

問 供用開始区域の水消化率はどのぐらいか。

答 平成23年3月末現在の水消化率は、75.3%である。

問 一般会計からの補てん率と他の市町村の状況は。

答 当町68%、他の町村の平均は34%である。使用料を軽減させていける方法がないか検証していく。

問 平成24年度下水道事業のコスト削減にどのような取組むのか。

答 工事におけるコスト削減、水消化率を上げるための個別訪問に加え、24年度は過去に借り入れた高金利の地方債の借りかえを視野に入れていく。

問 条例では、生活保護世帯と災害があった場合には減免がきくとあるが。

答 条例には、生活保護法の規定を受けている方、災害その他特別の理由が認められる場合には対象となる規定がある。今回は審議会では審議していない。

賛成多数で可決

職員の給与条例

一部改正

平成18年度の給与構造改革に伴い、町では給料月額水準を平均4.8%引下げたが、その激変緩和の経過措置として差額を支給してきた。人事院等の給与改定勧告を踏まえ、今回の改正でこの措置を廃止するというもの。

主な質疑

問 緩和措置の廃止理由は。国の給与構造改革が既に5年間で完了したため。

台町会館が完成

台町会館の完成に伴い、「大磯町立の地域会館条例」に、「大磯町立台町会館」を追加する改正。

施行日は4月1日

全員賛成で可決

- 所在地は東小磯31番地9
- 敷地面積は約151㎡(46坪)
- RC構造2階建、延床面積は約206㎡(62坪)



図書館・郷土資料館 委員の任命基準を規定

問 減額影響を一番受ける34名の年齢層は。生活実態をヒアリングしたか。

答 おおむね50歳以上である。個々の生活実態は調べていない。減額は官民格差を是正する目的のためである。

問 今後の人件費の推移は。職員数は260名を堅持する基本方針なので、職員給与は大きく変わらない。共済費、社会保障費等の負担は増加傾向にある。

賛成多数で可決

図書館法及び博物館法の改正に伴い、図書館協議会及び郷土資料館運営委員会の委員の任命基準を条例で定めることとし、関連条例の規定の改正を行う。

施行日は4月1日。

全員賛成で可決

問 学識経験者であるとか4つの任命基準があるが、公募町民の意見をいただく工夫はできるのか。

答 自治基本条例にも公募の委員を選任するよう努める規定があり、4つの任命基準のうち、社会教育や家庭教育の関係者という条件はつくが、一般の方の応募は可能であり、次回の改選から公募の委員を選任していきたい。

火災予防条例 一部を改正

「危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令」が公布され、炭酸ナトリウム過酸化水素付加物が新たに危険物として追加されたことに伴う条例の一部改正。

主な質疑

問 炭酸ナトリウム過酸化水素付加物という物質はどのようなものか。また、その危険性とは。

答 一般的には、過酸化ナ

トリウムもしくは酸素系の漂白剤、過炭酸ソーダと呼ばれ、漂白剤や洗剤として使われているもの。性状は白色の顆粒状で、性質は熱を加えたり、衝撃を加えると多量の酸素が発生し、燃焼物に酸素を供給してしまう、燃焼を助長するものである。

問 危険物の貯蔵状況は。

答 当町には該当する事業所、貯蔵所はない。ホームセンターで扱う品物は、数量から見て該当しないと考える。

全員賛成で可決

23年度補正予算 可決

今定例会では通常行われる年度の最終調整の補正予算に加え、新規の旧吉田茂邸整備活性化等基金条例の可決に伴う積立て、介護保険の制度改正で必要なシステム改修費も合わせ、7議案を審議した。

一般会計(3議案)	6,147万円減額
特別会計	
国民健康保険事業	1,348万円増額
後期高齢者医療	45万円増額
介護保険事業(2議案)	5,560万円増額

主な内容

- 地域防災資機材整備事業補助金100万円の減額。
- 個人町民税が当初より1億4千300万円減額。
- 介護保険サービス給付費5千万円の増額。
- 介護保険制度改正によるシステム改修費560万円。
- 旧吉田茂邸整備活性化等基金へ約7千658万円を積み立て。

主な質疑

地域防災資機材整備
問 防災関係の地域防災資機材整備事業補助金が100万円減額をしているが、各24地区に対し「何が必要か」という問いかけが甘かったのではないかと。震災以後、各地区で資機材が必要となり、区長に問い合わせ、必要なものを抽出し補助メニューに加えた。実際に350万円使った余裕を持たせた中で100万円の減とした。

問 100万円余ったのは補助金の出し方に問題があるのでは。4月に地区の予算が決まり、その後防災資機材整備の提案があった。整備にかかる費用の3分の2が補助金で、3分の1は地区で負担だが、出せない地区もある。24年度、25年度も同じ方法なのか。

答 23年度については急ぎよ補正対応で、反省する点もある。24年度以降は区長の要求を聞き、当初予算に計上している。

問 町と地区が用意する備品は分けなければならぬのでは。

答 大きな物は町で、細かい物は各地区で。各家庭の備蓄も重要と考える。町、地域、家庭での備蓄を協調し合っていきたい。

個人町民税の歳入減

問 個人町民税が1億4千300万円減となった理由は。また、今後の見込みは。

答 前年比を若干上回る見込みであったが、当初課税の結果、個人所得が大幅に落ち込んだ。景気の

影響や高齢化が進む中で、高額所得者の落ち込みが大きい。今後、景気が大きく改善する見込みもないので、大きな伸びは期待できない。非常に厳しい見通しと考える。

大磯小学校体育館 耐震改修

問 大磯小学校の耐震診断の調査委託で残額が出ているが、この耐震診断が出るのはいつか。また、診断後どのような対応をするのか。

答 残額は契約金額の執行残である。工期は3月19日までで、3月中旬に最終結果が出るので、その内容を精査し、対応を考えていく。

問 大磯小学校の体育館は防災拠点のなためでもある。この結果に対し、迅速な判断と優先順位をあげて対応していただきたい。

答 体育館の施設も老朽化し、修繕の必要もある。迅速な対応をしていきたい。

幹線16号線の整備

問 この測量を行うきっかけとJRとの交渉はどうなっているのか。

答 まちづくり基本計画で16号線の整備が位置づけられており、JRに交渉し、昨年の5月に一部現況道路敷の用地をJR名義から町名義にした。今後詳細な協議を進めていく上で、測量調査が必要であると考える。

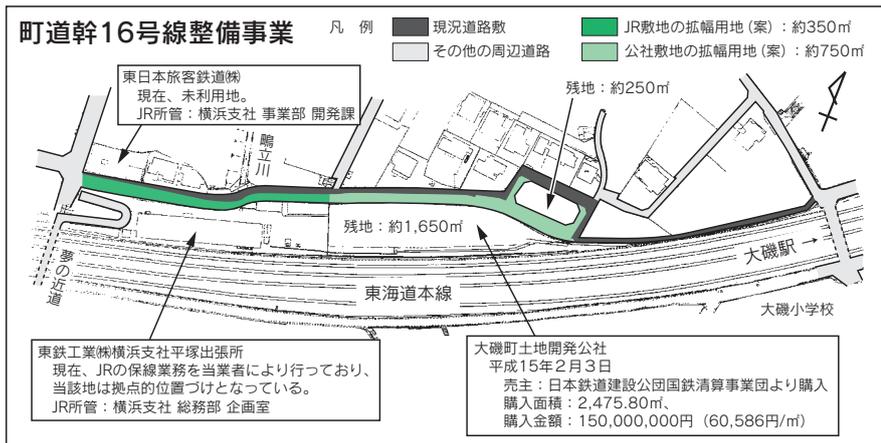
土地の活用

問 土地の活用について、周辺の住民に投げかけたり、意見を聞いたことはあるのか。

答 今後、町の考え方について情報提供や意見を聴取しながら、道路事業を進めていきたい。

この土地は

問 この土地は買ってから10年間塩漬にされていた。幾つかの目的



があって、それに活用したいから測量するということがあるのか。

答 町には使われていない財産がある。それをどう活用するのか。この16号線の道を広げ、駅前の駐車場、駐車場、コミュニティバスの問題等の活用について自治基本条例にのっとり、みんなで考えていきたい。

介護保険サービス

問 介護保険のサービス給付費が増えた理由は。

答 居宅介護のサービス受給者が見込みよりも10%伸びたための増である。

宝くじの収益金

問 市町村振興協会から交付金として、宝くじの収益金723万2千円増えたが、この使途目的は。防災関係の資機材購入に充てることは可能か。

答 一般財源として交付を受け、幅広く町民の方に使うことができる交付金であり、防災対策の財源にする等、活用は可能かと思うので、今後、適切な使い方を進めていく。

反対討論

○幹線16号線の整備については、住民に説明をしていない。自治基本条例を生かすには、町と住民の信頼関係を築きあげることが必要である。周辺住民への影響も語られないような状況での予算計上は順序が逆であり、反対である。

防災資機材の整備補助は、十分に地区の実情をくみ上げ、使いやすい制度をつくってもらいたい。

賛成多数で可決



防災資機材

賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果				
		奥津 勝子	二宮加寿子	土橋 秀雄	三澤 龍夫	片野 哲生	竹内恵美子	高橋富美子	鈴木 京子	高橋 英俊	吉川 重雄	関 威國	坂田よつ子	清水 弘子		渡辺 順子			
3 月 定 例 会	1	大磯町部等設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	2	大磯町暴力団排除条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	3	大磯町旧吉田茂邸整備活性化等基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	一	可決
	4	大磯町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	一	可決
	5	大磯町立の地域会館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	6	大磯町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	一	可決
	7	大磯町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	8	大磯町火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	9	大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の一部を改正する等の条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	10	平成23年度 一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	11	国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	12	後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	13	介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	14	平成24年度 一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	15	国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	16	後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	17	介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	18	下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	決議案第1号	議案第14号 平成24年度大磯町一般会計予算に対する付帯決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	19	23年度 一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	20	介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
	21	大磯町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
22	平成23年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決	
意見書第1号	介護報酬の地域区分見直しを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決	

○は賛成 ●は反対 一は議長が賛否に加わっていない場合

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、2月27・28日に9人の議員から23問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

清水
弘子

石神台地区の下水道供用開始は
5月1日にできるのか

答 供用開始に向け話し合いを進める

問 石神台地区の下水道の供用開始は5月1日にできるのか。

町長 石神台地区の供用開始について、5月1日に向けて、自治会と話し合いを進めている。

2月18日、既存の汚水管を町へ移管していただき、受益者負担金をいただくことなどの方針をお話した。

問 平成16年度は受益者負担金を賦課しないと言われたが、賦課することになった理由は。

建設課長 16年当初は既存の汚水管について、受益者負担金を賦課しないかわりに、自治会が調査し、悪いところがあれば修繕した後、町へ移管する提案をしてきた。

問 供用開始から本管を使用できるようになるまで、どのような課題があるのか。

建設課長 町が下水管の整備をし、公共下水道が使える

ようになる区域を定めることを供用開始という。その後、各家庭の汚水を公共下水道に接続し、流すことを使用開始という。

最初に受益者負担金を賦課し、納めていただく。その後、宅内排水設備の申請を行い、検査を受けて、使用開始となる。この時から下水道の使用料が生じる。

受益者負担金や宅内排水設備の手続きの方法やかかる日数などが、今後の課題となる。引き続き石神台自治会との話し合いを進める。

葬儀場建設

計画白紙撤回

問 鳴立庵西側の葬儀場の白紙撤回を求めている。

サン・ライフ



石神台汚水処理場と道路

会長と町長のトップ会談継続にもかかわらず、開発事業事前協議書が町に提出された経緯は。

町長 開発事業用地を町で買収したいと申し入れている。引き続き、粘り強く交渉していく。

その他の質問

- ① 国際学園からの保証金は
- ② 駅前マンション計画

高橋 富美子

大磯中学校へのエレベーター設置は

答 エレベーター設置も必要と考える

問 大磯中学校へのエレベーター設置は、学校のバリアフリーや子どもたちが友達と一緒に学び、成長できる環境として大事と思うが、町長 バリアフリーの観点からも必要と認識。教育施設の修繕の優先度も考慮。教育長 エレベーターの設置はすべての学校施設に設置する必要があると考える。修繕計画の中で順次進める。問 障がいを持つお子さんの入園や入学希望に受け入れ体制を作り、そのお子さんたちの遊び、学ぶ権利を保障していただきたいが、子ども育成課長 幼稚園、小学校で見させていただき、非常に大切と思う。成長していく姿や度合いに感じるところがある。必要だと考え、進めてまいりたい。

中学校武道の必修

問 柔道の事故では2010年までに全国で114名が亡くなり、

後遺症がのこる事故は27年間93件起き、27件は授業中に起きていたが、対応は。町長 本当につらく重いこと。きちんとした対応をとっていかねばならぬ。教育長 指導力の向上で体育担当者の武道指導者研修会を受けている。また、指導協力者とともに万全を期していくことが必要と思う。問 武道のみを集中して行える環境はどうか。子ども育成課長 一層安全性の確保を図ることから、教室の使用状況をしながら工夫を図ってまいりたい。

町職員の健康管理

問 心的疾患による休職者は。町長 2月1日現在4名の職員が休職中であり、定期的な面談で回復状況や復職に向けている。また、未然の予



柔道の授業風景

防でメンタルヘルスケアを行っている。問 今回、機構改革がありピラミッド型に変わる。土台の職員が上を支えている。職員の方に元気に仕事をしていたいただきたいが。総務課長 精神的に疲れている職員もいる。朝のミーティングで職員の顔を見ての状況把握や調整を図る。問 観光推進室は機構改革(案)では、建設経済部の組織内に変わり、産業観光課として位置づけられるが、その目的、方向性は。町長 さまざまな環境資源や農業、漁業などの産業と連携したイベント等を行ってきた。次なるステップとして、反省点も含め、大磯港のさらなる活性化や産業・観光振興をより一体的に取り組める組織にした。問 黒岩知事が進めている県観光条例と観光推進計画に対する町の対応は。町長 知事は「観光マグネット宣言」を出し、観光行政の充実強化を目指して「お金をかけず、しっかりと心を合わせ、精神的に引きつけるものをそれぞれの地域に発信してほしい」と言っている。目指すべき将来像は共通で、町が第4の観光の核となり得るように行動を起こしていきたい。

土橋 秀雄

ガイドボランティア協会発行のガイド資料(冊子)に町の関与は

答 関係部署より写真などを提供

問 大磯町観光推進連絡会 議の目的や内容は。各種団体の活動をいかに統括し、町活性化に結びつけたか。町長 観光による交流人口を増やし、町の活力を高めるためには、町民や各種産業、観光関係団体の連携と協力が不可欠。それぞれが役割分担を意識し、観光政策を進めることが大切。各団体が開催したイベントに、情報の共有化を一層図り、連携策や宣伝方法等協議を行っている。問 多額の観光予算が事業に対し効果的に使われたか。町長 総合計画に数値目標があり、大磯を訪れる観光客数を把握し、一つの検証材料としている。また、宿泊費や飲食費から観光客の消費額を算出しており、消費額は減額傾向にある。観光予算に



国府祭での鷺の舞

吉川 重雄

町長の責任で人事異動させた理由をなぜ、述べられないのか

答 議会で答弁せんといかんのか

問 町長は人事異動を町長の立場で行われた。個人の立場ではなく、勤務時間中にきちつと異動されたのだから。町長という立場で、責任者としての立場で理由を述べられないのは納得できないが。

町長 こういう説明を求められることがあるのか理解できない。なぜそうしたか議会で答弁せんといかんのか。私は素人である。

問 全くとっておかしい。行政の長として業務上行ったこと、異動についての理由を述べられない。それがあなたの町長としての政治姿勢だということが判った。

私が言いたいのは、行政として、組織としての責任のとり方の問題だ。プールで問題があったから異動、職員が町長でなく首席理事を向いて仕事をしているから異動させた。プールの対応で教育理事に責任を求めたならば、当然、教育長に

も責任を求められることが組織だ。また、あなたが任命権者として当然、教育長の責任も問わなければならない。

職員が首席理事を向いて仕事をしているから異動させた。本来、首席理事は副町長の役割をし、職員をすべてまとめる。その指導のもとに行われるのが首席理事の役目である。それを町長は「首席理事のほうを向いて、自分の言うことを聞かない職員がいるから異動させた」というのでは、責任をきちつととろうとしない、そこに問題があると指摘しておく。

中崎町長は行政を進める中で責任をどうとるのか。もし今回のような責任をとらない対応をすると、これから行政を進めていく上で職員が萎縮してしまう。町長の指示で職員が一生懸命仕事をして失敗してしまつたら、「責任はおまえがとれ」では、「職員は町民の

ために一生懸命頑張ろう、仕事に励もう」という気持ちが起こるだろうか。そこが問題だと質問している。行政を進める中で、今後けじめをつけられるかを問う。答えてください。答えられないならば結構である。あなたは、しがらみをつくらないと言ってきたが、後援者がふれ回っていた人事を實際行つたり、選挙運動をした者を町の主要ポストにつけた。こういう事実があったからこそ、「しがらみを断ち切る、それが私の決意だ」と言われたからこそ、過去1年間の行政の中でのもろもろのことを指摘している。しがらみを断ち切ることができるのか。

町長 しがらみなくやっていく。

その他の項目

○コミュニティバスについて
○東海大学大磯病院の産科再開の要望について

坂田 よう子

県立城山公園との一体化による旧吉田茂邸再建の展望は

答 県立城山公園拡大区域として整備

問 県立城山公園との一体化による旧吉田茂邸再建の展望は。

町長 故吉田茂の人物像や活躍した当時の社会や文化に触れ、その生活を体験できる公園づくりを目指す。

都市計画課長 県立大磯城山公園拡大区域として整備25年度に一部開園し、その後に連絡橋の整備等を予定する。

問 再建の進捗状況は。

政策課長 現在、町・県協同で、検討委員会やワーキング部会を設け、利活用や国補助金の採択に向けた取り組みを行っている。

再建レベル等が確定した際は、ぜひ、町民説明会を開催したい。

問 郷土資料館との関連は。

教育長 リニューアルの際は、旧吉田邸再建及び城山公園拡大整備と調整を図る。

駅前洋館「旧木下家別邸」
問 駅前洋館「旧木下家別

邸」が国登録有形文化財となり関心が高まっている。活用の方針は。

町長 ①建物としての価値を守る②景観への配慮③ランドマークとしての活用④町・地域との調和⑤新しい価値の創出を基本に、企画提案を民間事業者より募集し、選定委員会を設け決定する。

知事のマグネットの呼び掛けに、大磯町は、駅前洋館等の邸園文化圏再生構想を繋げていきたい。

大磯港再整備の具体策

問 大磯港を核としたまちづくりの具体的な展開は。

町長 指定管理の利点を活かし、より現実的な産業振興を図る。漁協・港湾管理

事務所等を再整備。芝生広場や駐車場の利活用等の県との交渉も一歩進める。

問 大磯港再整備に、農業振興をも視野にした6次産業の活性化を期待するが。

環境経済課長 大磯市は、漁業・農業・商工業関係者が連帯し開催している。6次産業の見本市と言っても過言ではない。

県と連帯し、町活性化の核として施設整備等をぜひ進めたい。



旧木下家別邸

竹内 恵美子

地域包括ケアシステムは
町民の要望に沿ったものか

答 沿ったものであると考えている

問 地域包括ケアシステムはどこに重きをおいているのか。

保険福祉課長 24時間対応の定期巡回、随時対応型訪問介護看護サービスを導入。特別養護老人ホームのイメージに近いような手厚いケアを在宅でもできるように考えられたシステム。

問 地域包括ケアシステムは町民の要望に沿ったものか。

保険福祉課長 町民の要望に沿ったものであると考えている。

問 地域包括支援センターの今後の位置づけは。

保険福祉課長 高齢者の総合的な相談、支援事業、継続的なケアマネージメントを行っていく。地域包括ケアシステムの中では中心的な役割を担っていく。

問 地域区分が、二宮町は3%上がっていて、大磯町は上がっていない。高齢者

へのサービス低下につながるのはではないか。

保険福祉課長 長い間には高齢者や、事業者にとって不利になってくる。町としては、事業費の上昇が抑えられる。

問 町は給付費が少なくて済むかも知れないが、介護をするヘルパーや事業者が少なくなるといことは、サービスの低下になる。国、県に要望はいかがか。

保険福祉課長 町民の納得できるように要望していく。

問 4年前に富山市を、昨年は逗子市を

例にボランティアのポイント制度の提案をしてきたが、介護保険のほうに入ってきた。平成26年度までに作れば良いということか。

保険福祉課長 高齢者に介護施設等でボ



ランテニア活動をしていただき、それに応じてポイントを与えていただき、そのたまったポイントで換金や寄付ができる。

問 いつまでにできるのか。

保険福祉課長 なるべく早くとしか申し上げられない。

その他の質問

「中学校武道の必修化」について

関 威國

町長が掲げたマニフェストの
実行にあたっての考え方は

答 皆さんと共に取りくむ

問 マリア道は地域住民と連携し、大磯町のための道路をつくると公約したが、

住民の声が反映されていない。国際学園のための拡幅整備なのに、「万台こゆるぎの森」の保証金1億8千万円がいまだに未納である。事業者の選定委員会で道路整備すると回答しながらしていない状態である。町が工事を進めることに町民は納得していない、凍結すべきである。できないのは「しがらみ」があるのか。

町長 しがらみはない。政策課長 マリア道は絶対必要である。計画に基づいた事業である。

葬儀場問題を問う

問 土地買収は積極的に進めているか。

町長 事業者も理由があつて買ったので簡単には譲らない。町の必要性等話し、ご理解を求め交渉をしてい

る。

問 まちづくり条例に従って開発申請が出されると、とめることはできないか。

都市計画課長 ルール通り提出された書類で不備がなければ、法的にも実務的にとめる事は難しい。

問 葬儀場の問題解決は町長しかできない。町民は全面的に応援する。決意は。

町長 私は町民の代表であり全力を尽くす。

放射線の測定は

問 購入した測定器の活用は。

町長 補正予算で3台購入し2月に納品された。2台は教育環境の定点測定に使用する。1台は町民の要望により貸出しの準備を進めている。

問 学校給食用の食材の放射能濃度検査は。

教育長 現在流通している食材は食品衛生法の暫定基準値以下であり、地産地消を進めており安全性は確保されていると思う。来年度に県が簡易型の放射能検査機器を5台購入し、学校給食の食材検査体制を整備する計画があり、本町ではその制度を活用し放射能濃度検査を進める。



放射線測定器 PA-1000 (シンチレーション式)

二宮 加寿子

防災対策に女性の視点を 意志決定の場に女性を

答 積極的に女性の視点を取り入れる

問 東日本大震災で、長引く避難所生活の中で女性の着替えや、授乳スペースが確保できなかった。既存の防災対策を考え直すことが多く、女性の視点が反映されていないことがわかった。防災会議への女性委員の積極的な登用はいかがか。

答 共同化。内容は、住民基本台帳、印鑑登録関係、国民年金、介護保険、固定資産や軽自動車、住民税、子ども手当、児童手当システムに含まれ、電算化。データは中井町に、バックアップは県外に置くことになる。

問 昼間震度5以上の大地震が発生した場合の対応は。子ども育成課長 神奈川県沿岸地域に津波警報、大津波警報が発生した場合、保護者、保護者に依頼された人が引きとりに来るまで、園児・児童・生徒は学校・園で保護、教育委員会で地震対策マニュアルを作成。

問 男女共同参画について、女性の視点から防災対策を。町民課長 男女共同参画の視点を取り入れた防災復興対策が必要で記載していく。

問 駅前マンションの計画の修正が三菱商事から出された。理由は県の指導と住民要望を受けての修正とされている。調べたところ、県の指導の事実はなく、住民の要望も同意されていない。虚偽記載については厳しい指導が必要と思う。変更協議書にすべきではないか。

問 駅前マンション計画は修正でなく変更手続きを求めるとは進めない。ただくことを話す予定。

町長 大磯町防災会議議員は20名、任期は24年6月末改選時に積極的に働きかける。

問 避難所運営、防災訓練 HUG（避難所運営ゲーム）の導入は考えられるか。

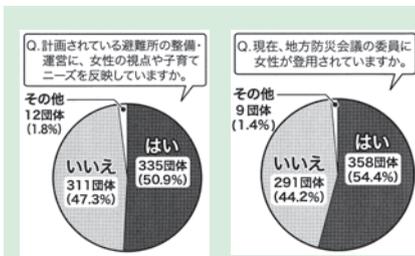
町長 実践的な訓練として HUG の導入は楽しみながら実践的に学び身につく一つの訓練として取り入れる。

問 がん検診受診率向上は。町長 平成24年度は5つのがん検診を同日に受診日を受け、受診しやすい環境に。スポーツ健康課長 20歳、35歳の方に個別通知で勧奨。成人式での啓発を実施する。

問 国際学園のサッカー場は。町長 万台こゆるぎの森に学校法人国際学園がつくったサッカー場は、いまだに工事の完了検査が出されていない。

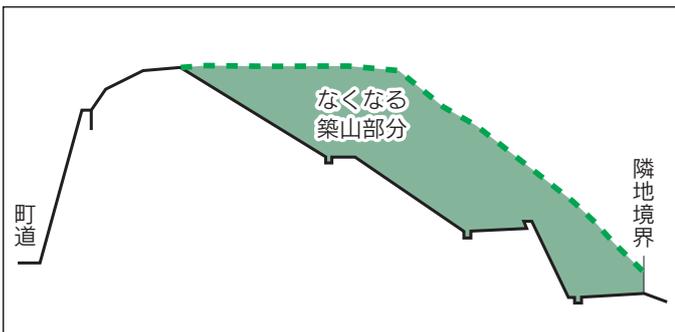
問 町の遊休地。町長 東町の旧球技場は高齢者が健康づくりに活用している。他の場所の検討は。町民課長 町の財産の台帳を、新たに公会計制度の中で整備していく。

問 災害において、町の情報管理の対策は。総務課長 住民基本台帳の作成、積極的に女性の視点と意見、方策を考える。



問 まちづくり条例では開発行為があること前提で手続きは終了している。今回、唐突に偽ってまでお金のかかる大型ダンブ3千台分の土砂を出してま

問 学園側は手続きを取り下げた。完了済証を交付され安心して使えることができない。町長 使用制限までは該当しないと考えているが、完了検査については必ず受けてい



駅前マンション・新たな造成

鈴木 京子

駅前マンション計画は修正でなく 変更手続きを求めるとは進めない

答 次の手続きへは進めない

問 駅前マンションの計画の修正が三菱商事から出された。理由は県の指導と住民要望を受けての修正とされている。

町民課長 別の工法も今後検討の一つになるのではないかと、事業者と話している。

ただくことを話す予定。

問 駅前マンションの計画の修正が三菱商事から出された。理由は県の指導と住民要望を受けての修正とされている。

町民課長 別の工法も今後検討の一つになるのではないかと、事業者と話している。

町民課長 別の工法も今後検討の一つになるのではないかと、事業者と話している。

町民から信頼される議会を目指して

平成21年11月に議会基本条例を施行してから2年経ちました。この間、議会報告会を開催し、新年度予算の審査の過程などをお知らせしてきました。

昨年末からは議会運営委員会を中心に、報告会の回数を増やすことや、町民との意見交換会の開催など、議会基本条例の運用について検討を重ねてきました。また、法政大学の広瀬克哉教授を招き、議員研修を行い、今後の議会基本条例の運用方針を固めました。今後もさらに制度を活用し「よりよい政策提言ができる議会」「信頼される議会」を目指します。

議会報告会

○これまで5月に行ってきた予算報告に加え、9月定例会終了後に、決算の報告会を行います。

○皆さまが参加しやすいよう、日時、場所、回数などを増やします。

○議会報告会は
5月11日・12日に
開催（詳細は16ページ）

○一般会議の申し出は
議会事務局まで

○多くの方に知っていたいため、周知方法を工夫します。

一般会議（意見交換会）

○24年度からは、町内で活動している各種団体の方々と意見交換の機会を持ちます。

○現場の方々の意見を参考に、町への政策提言につなげていきます。

○開催方法やテーマ等については議会運営委員会決定し、皆さまにお知らせします。

通年議会

○通年議会では、本会議や委員会が随時開催できるようにになります。そのため、町長の専決処分などが早い時点から行える等のメリットはありますが、現時点では必要性、導入効果などを明確に判断できないため、導入に向けてはさらに検討していきます。

自由討議（賛否の討議）

○従来の議会でも最も欠けていたのが、議員相互の討議でした。町政の監視、政策提言を行う議会となるためには、議員同士がお互いの考えを話し合い、機関としての合意形成をする必要があります。

○今後、委員会協議会などで試行的に実施し、手法を学びます。



今後の検討事項

- 決算に係る総括質疑実施
- 住民投票に関する条項
- 議会基本条例第7条に規定する重要政策の審議等についての実施方法
- 政策形成能力の向上のため、議員研修機会の充実、重要政策勉強会の実施、先進地視察の柔軟な対応（2常任委員会以外の委員会視察対応など）
- 各委員会のテレビ・インターネット中継の導入
- 請願・陳情に係る審査対象基準等作成
- 議会会議室等の充実
- 議会事務局体制の充実

議員研修会を開催

【議会改革】

2月2日、行政学や自治体議会論、公共政策研究等を研究する法政大学の廣瀬克哉教授を招き、「議会改革と議会基本条例制定後の進捗管理について」全国の運用状況等を伺い、町議会で活かせるよう議員研修を行った。

全国的に議会基本条例を制定する議会が増えているが、制定することで終わっている議会も散見される。

本来の条例制定の目的、目指すものを再検証することの大切さ、議会改革の難しさを講演された。

【地震と大磯の地盤】

1月19日、湘南地域を中心として、活断層調査、近年は地震被害との観点からボーリングデータ解析などに従事している平塚市博物館の森慎一学芸員を招き、議員研修を行った。

研修には町の危機管理対策室を初め職員も出席し、大磯の地盤や活断層を知ること、防災意識を高めることができた。

多くの議会が研修で来庁



他議会の視察を受入れることで得られる情報・知識も多いため、議員を6班に分け、対応している。今後も積極的に視察研修を受け入れていく考えである。平成23年度は9つの議会が来庁した。

- 岡山県笠岡市
- 千葉県一宮町
- 北海道松前町
- 福島県会津坂下町
- 栃木県那須町
- 群馬県大泉町
- 静岡県長泉町
- 群馬県下妻市志政クラブ
- 神奈川県中井町

議会報告会にご参加ください

議会の活動等を町民の皆さまにご報告するとともに、皆さまからご意見をいただき議会運営の改善を図っていくため、今年度も議会報告会を開催します。是非、ご参加ください。

- 報告事項**
- ・平成24年度予算の主な事業について
 - ・主な議案について
 - ・その他

と き	と ころ
5月11日(金) 18:30~20:30	保健センター2階研修室
5月12日(土) 13:30~15:30	月京会館 (国府支所南側) (駐車場はございません)
〃 18:30~20:30	西小磯東老人憩の家 (駐車場はございません)



昨年の議会報告会のようす

※当日はこの『議会だより』をお持ちください。

陳情が実現へ

昨年の12月議会において採択した「大磯町公共施設の電力購入先変更を要望する陳情書」を受け、町は入札を行い、4月1日から1年間を契約期間とする「大磯町公共施設電力調達契約」を特定規模電気事業者の(株)エネットと基本料金を1千332円/kwで締結した。対象となる公共施設は、役場本庁舎、小・中学校を含む15施設で、東京電力と比較した場合、年間約400万円(約8%)の減額効果が見込まれる。

義援金を被災地へ

3月18日に大磯港で開催された復興支援イベントにおいて、町議会でブースを開設。来場者からいただいた義援金を含め、15万円をイベントに参加していた石巻市、女川町、洋野町、陸前高田市へ送りました。ご協力ありがとうございました。



机上配布となった陳情

◆大磯の河川の劣悪な水質環境を憂い、効果的な施策を求める陳情

議会は本会議・

委員会・協議会

すべて公開です

傍聴お待ちしています



陳情・請願

町政などへ意見や要望があるときは、誰でも陳情書や請願書(議員の紹介が必要)を議会に提出することができます。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。61-4100(内線281)

提出の締め切り
(6月定例会分)
5月21日(月)

6月定例会

- 6月 1日(金) 議案上程等
- 7日(木) 一般質問
- 8日(金) 一般質問
- 13日(水) 委員長報告等

※SCN(ケーブルテレビ)にて放映されます。

編集後記

春の選抜高校野球の開会式で石巻工業高校の阿部選手が行った選手宣誓の言葉に心をうたれました。震災から一年、被災地の皆さまが苦しい日々を送っておられる中で、日本中が若い彼らに希望を託しエールを送りました。この気持ちを忘れてはならないと思います。さて、中崎町長の初めての本格的な新年度予算は、学校施設の災害時備蓄品を確保すること、荒廃農地対策、コミュニティバスの運行方法等について再検討すべき、との付帯決議がつけました。今後も議会のチェック機能を強化し、皆さまと歩む議会を目指します。

議会だより編集委員

- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 鈴木京子 |
| 副委員長 | 二宮加寿子 |
| 委員 | 片野哲生 |
| | 高橋富美子 |
| | 高橋英俊 |
| | 関威国 |
| オブザーバー | 奥津勝子 |
| 副議長 | 渡辺順子 |